



始良市立建昌幼稚園 園だより

笑顔あふれる 建幼の子

「いきいき・わくわく・のびのび」

令和8年度



笑顔あふれる夏祭り！

7月1日（水）、恒例となっています保護者会主催の夏祭りを行っていただきました。リズム室で、保護者の方々が円陣を組んでの「頑張るぞー」の気合の入った意気込みから始まりました。

子供たちは、夏祭りをとても楽しみにしていました。

特に印象的だったのは、お財布を首から下げた子供たちの姿です。大切な10円玉を握りしめながら、「どれにしようかな」「これください」と、少し緊張した表情で商品を選ぶ姿は、とてもほほえましいものでした。買い物を終えた子供たちは、袋の中をのぞき込みながら満足そうな笑顔を見せ、友達同士で買ったものを見せ合う姿も見られました。

私たち大人にとっては何気ない買い物ですが、子供たちにとっては、自分で考え、自分で選び、相手と言葉を交わしながらやり取りをする貴重な体験です。「欲しいものを選ぶ」「お金を払う」「商品を受け取る」という一つ一つの体験の中には、多くの学びが詰まっています。また、友達と一緒に活動する中で、順番を守ることや相手を思いやる気持ちも育まれていきます。

ゲームやかき氷など、楽しいコーナーもたくさん用意していただき、子供たちは夏のひとときを存分に楽しむことができました。また、子供一人一人に心温まるキーホルダーまで準備していただき本当にありがとうございました。

このような体験は、楽しい思い出として子供たちの心に残るだけでなく、人と関わる力や社会性を育む大切な機会にもなります。

今回の夏祭りの開催に当たり、企画・準備・運営にご尽力いただきました保護者会役員の皆様をはじめ、夏祭り系の皆様に心より感謝申し上げます。子供たちの笑顔があふれる、思い出深い夏祭りとなりました。本当にありがとうございました。



～実りある夏休みに～

1学期を振り返ると、子供たちはさまざまな行事や日々の活動を通して、多くの経験を積み重ねてきました。ぜひ、この1学期間のお子様の成長をたくさん見つけ、その努力や頑張りを認め、大いにほめてあげてください。

また、この1学期間、大きな事故やけがもなく、子供たちが毎日元気に過ごすことができたことを大変うれしく思います。保護者の皆様には、日頃より園の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

まもなくすると、子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。夏休みは、生活や学びの中心が家庭へ移る貴重な期間です。ぜひ、ご家庭ならではの体験をたくさんさせてあげてください。自然に触れること、家族で出かけること、お手伝いをする、地域の催しに参加することなど、一つ一つの体験が子供たちの豊かな学びにつながります。さまざまな体験を通して、子供たちの心と体はさらに大きく成長していきます。



夏休みの過ごし方については、配布する「夏休みを楽しく過ごしましょう！ 合言葉は『じぶんのいのちはじぶんでまもる』」をご覧ください。特に、通常時では起こらないことが夏休みに入った途端に起きることがあります。「水難事故」です。海や川に行ったときは、絶対にお子様から目を離さないようにしてください。祖父母宅など帰省したときも同様に気を付けてください。

9月1日（火）、元気いっぱいの子供たち、そして保護者の皆様と再びお会いできることを楽しみにしています。どうぞ健康に気を付けて、思い出いっぱいの楽しい夏休みをお過ごしください。

【8月の目標】

- 早寝・早起き・朝ごはんの励行など、**規律正しく楽しい生活ができるように**する。
- **健康・安全に気を付け**、お手伝いや地域行事に関心をもつようにする。



給食参観日 (6/25.26)



お忙しい中、多くの保護者のみなさんに給食参観にお越しいただきました。ありがとうございました。

普段の園での様子を見ていただく良い機会となったのではないのでしょうか。どんなふう給食を食べているのだろう、そんな思いをもっておられた保護者の皆様にも安心していただけたのではないのでしょうか。日頃の給食の様子をご覧いただき、お子さんの新たな一面を感じていただけたことと思います。

給食は、食事のマナーを身に付けるだけでなく友達と一緒に食べる楽しさや食べ物への感謝の気持ちを育む大切な時間です。今後も、子供たちが楽しく食に親しめるよう取り組んでまいります。



七夕祭り

先日、園では七夕祭りを行いました。

子供たちは、七夕のお話を聞いたり、「たなばたさま」の歌を歌ったり、みんなで楽しいひとときを過ごしました。また、一人一人が思いを込めて作った七夕飾りや短冊を笹に飾り、季節を感じる美しい七夕飾りで彩られました。

七夕は、日本に古くから伝わる大切な伝統行事の一つです。幼児期に季節の行事に親しむことは、日本の文化や風習を知り、豊かな感性や季節を感じる心を育む大切な機会となります。

子供たちの短冊には、「〇〇になりたい」「〇〇がじょうずになりたい」「〇〇とみんながおともだちになれますように」「すぐにおこりんぼうにならないように」など、一人一人の素直で温かな願いが込められていました。どうか子供たち一人一人の願いが、天まで届きますように。そして、これからも夢や希望を大切にしながら、毎日を笑顔で過ごしてほしいと願っています。



お集まり会 (7月) でのお話

7月のお集まり会で、「お友達の気持ちを考えよう」をテーマにお話をしました。

子供たちに、うれしい気持ちやかなしい気持ちになるのはどんな時かを問いかけ、発表してもらいながらお話をすすめました。自分の気持ちに置き換えて一生懸命考える姿が見られました。



相手の気持ちを考える力は、一朝一夕に身に付くものではありません。友達との遊びや生活の中で、うれしかったことや悲しかったことを繰り返し経験しながら、少しずつ育まれていきます。その中で、思いがぶつかる場面もありますが、それらも子供たちにとって大切な学びの機会です。担任は、一人一人の気持ちを受け止めながら、「相手はどんな気持ちだったかな。」と一緒に考えられるよう援助しています。

「自分がされてうれしいことを友達にも」「自分がされて嫌なことは友達にもしない」という思いやりの心は、これからの社会生活の基礎となる大切な力です。

園でも、ご家庭でも、子供たちの優しい心を大切に育てていければと思います。

帖佐幼稚園との交流

帖佐幼稚園の年長組のお友達が本園に遊びに来てくれました。(5月には本園の年長組が帖佐幼稚園に行きました。)

当日は、はじめにみんなで紹介した後、園庭で一緒に自由に遊びました。

また、この時期ならではの活動として、水遊びも取り入れました。昼食時間は一緒にお弁当を食べました。水の感触を楽しんだり、水を使った遊びを共有したり一緒に食事をする中で自然と笑顔や会話が広がったと思います。

このような園同士の交流は、普段とは異なる環境や人との関わりを通して、子供たちの世界を広げる大切な機会です。お友達に少しドキドキしながらも、自分から声をかけたり、一緒に遊びを楽しんだりする体験は、思いやりの心やコミュニケーションする力を育ててくれます。



「一緒に遊ぶと楽しい」「また会いたい」と感じる気持ちを大切にしながら、互いに心温まるひとときになりました。



「歯と口の健康週間」図画コンクール 入賞おめでとう！

始良地区歯科医師会主催の「歯と口の健康週間」図画・ポスターコンクールにおいて、銀賞・銅賞を受賞しました。おめでとうございます。授賞伝達式は、終業式に行います。

銀 賞 (こあら組：川野 日柳人さん)
銅 賞 (りす組：本房 里晴さん)